

いっしょに考えましょう!

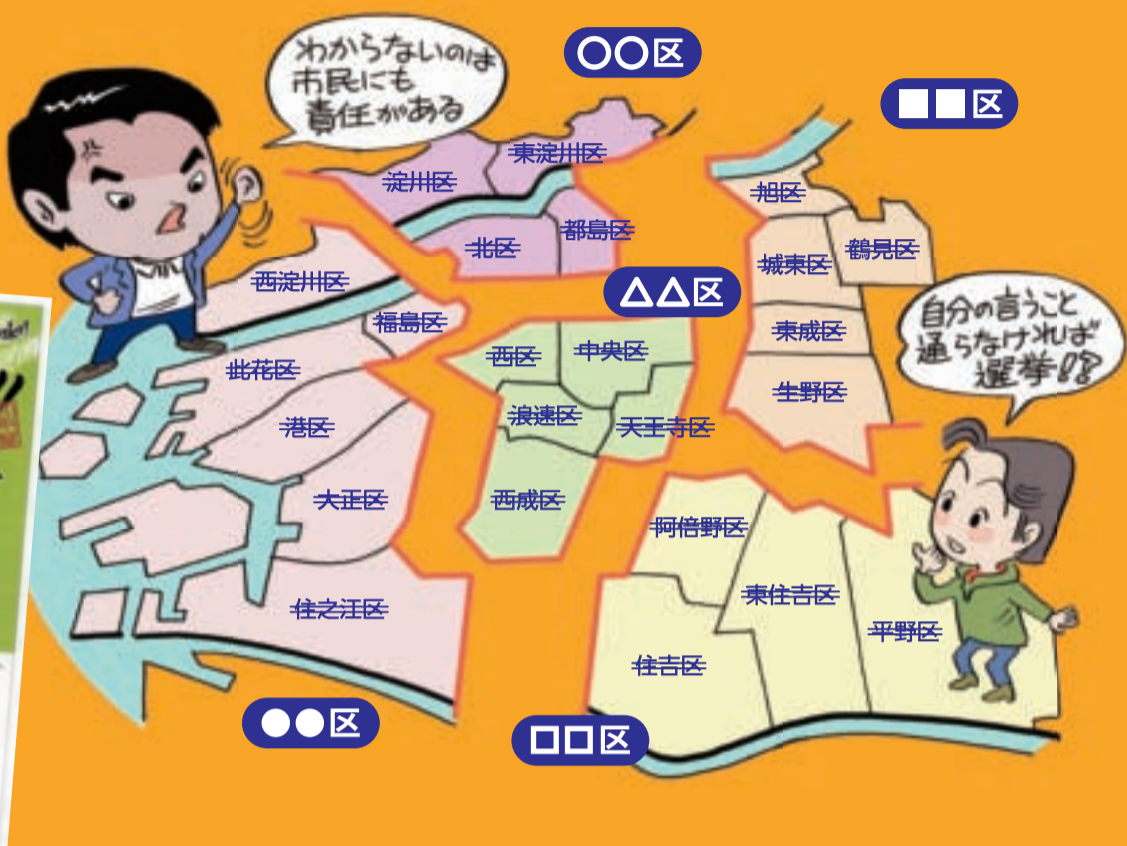
なんで大阪市をなくさなアカンの?

「大阪都構想」って「中身がわからない」という声がいっぱいです。

大阪市を「解体」し、今の区も無くなるのが「大阪都構想」、うちだして4年にもなるのに、維新府議さえ『中身がまだわからない』という住民の圧倒的な声がある」とボヤきます(1月31日法定協議会)。

橋下氏は「すべて資料はホームページに出している」「市民のみなさんにも責任がある」(2月3日)と市民に八つあたり。

2011年の市長選挙ではこんなピラも...→



Q そもそも「大阪都」って?

A 「大阪市」をつぶし、財源と権限を「一人のリーダー」に

大阪市や堺市をなくし、その権限と財源を「一人のリーダー」にゆだねる。そうすれば、「二重行政の無駄が省けて財源が浮く」と宣伝しています。しかし、大阪市を解体して、無理やり「特別区」をつくっても、新庁舎の建設、区議会の設置など巨額のコストがかかり、赤字が続き、住民サービスに回す財源はできません。

「大阪都」で二重行政解消、4000億円節約できるはウソ!

橋下氏は「大阪都で4000億円節約できる」と言ったのは「僕と知事との悪い癖で、勢いで」(2月9日タウンミーティング)と言い訳。これは明らかに大ボラ・虚言です。

節約効果額せいぜい9.4億円

橋下市長が出した「制度設計案」には、効果額は700億円だけ。これも「大阪都」とは無関係の中身を入れた「粉飾」だったことがマスコミで批判されています。市民サービスを切り捨てる市政改革プラン(237億円)、ごみ収集の民営化(79億円)などを含めていたのです。日本共産党市議団の試算ではせいぜい9.4億円しかなく、メッキはすでにはがれています。

Q 「一人のリーダー」で大阪は豊かになる?

A 「カジノだ!」「リニアだ!」と無駄な浪費もやりたい放題

橋下氏は「世界からヒト、モノ、カネ、企業を呼び込む。これが大阪都構想」といいます。しかし、その手段ではっきりしているのは、「カジノ」誘致、「梅田から関西空港への『なにわ筋線』建設」「高速道路淀川左岸線の延伸」などです。

「なにわ筋線」は2000億円前後かけて、関空までの時間短縮はたったの5分、1分短縮するため400億円もかかります。ハコもの、大規模開発事業の失敗をまた繰り返すのでしょうか。



Q 選挙で選ばれた区長で市民サービス良くなる?

A 厳しい財政で住民サービスは引き下げられる!

橋下氏は選挙で選ばれた区長になれば住民サービスが良くなると思いますが、新しくできる「特別区」の財源は、元々の大阪市の財源を3割から4割も「大阪都」に抜かれます。「特別区」がやりくりするには土地を売って稼いだり、職員を削減することを見込んでいるのです。

住民サービスと言っても、無い袖は振れません。

「特別区」を作るのに税金いっぱい必要!

新たに「特別区」を作るには、コンピュータシステムの改修、庁舎の整備・建設、移転など初期コストが莫大にかかります。これを過少に見せるため庁舎は建設せず足りない場合は民間ビルを借りて間に合わせ、住民票などのシステムは共同利用するとしています。これでは住民の混乱とともに、大阪市を解体する意味さえないことを示しています。

「二重行政」解消で大規模開発の無駄が無くなる?

橋下氏は「二重行政」だからWTCやりんくうゲートタワーなど、莫大な無駄づかいがあったと主張します。これは全く違います。府も大阪市も財界の利益のため不用なハコモノづくりに税金の無駄づかいをしたのです。橋下氏はむしろ「大阪都」にして「カジノ」誘致など、またまた莫大な無駄づかいをめざしているのです。